

口永良部島の昆虫 (2016年)

金井 賢一

Insects collected on Kuchinoerabu-jima (Osumi Islands) in 2016

Kenichi KANAI

キーワード：チョウ、ガ、バッタ、新分布記録

はじめに

口永良部島は2015年5月29日に新岳火口が噴火し、火砕流が向江浜まで達した。2015年12月に全島避難が解除されたのを機会に、この火砕流地帯の昆虫相を2016年4月、7月、10月と3回調査した。火砕流の影響の有無を主にアリ相で比較したが、その結果は別報にて後日発表する。今回は3回の渡島調査で得られたアリ以外の昆虫について報告する。

口永良部島の昆虫については、2001年に「生態系多様性地域調査（口永良部島公園区域拡張調査）報告書」が出ている（鹿児島県環境技術協会、2001）。それまでの文献を調査した結果がまとめられており、7目58科216種がリスト化されている。増補改訂琉球列島産昆虫目録（東、2002）では、種ごとに分布する島を示しているが、北琉球に関しては手薄であり、例えばカマキリ類は口永良部島に1種も記録がない。その後2013年に東京環境工科専門学校が調査して昆虫16種の新分布記録を報告しているが、これはポスターをweb上に公開しているのみで、印刷物になっていないようである（<http://kuchinoerabu-jima.org/img/2013-12tec.jpg>）。福田（2015）では、2010年10月の蛾の記録（14科113種）が報告されている。著者はその他に口永良部島に関してまとまった報告を確認していないが、個々の図鑑類に新分布記録を散見している。例えば日本産セミ科図鑑（林・税所、2011）ではそれまでに記録の無いクマゼミが報告されており、バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑（日本直翅類学会、2006）

には島嶼ごとの分布表が掲載されている。

今回は上記の報告と照らし合わせて、調査結果の中で新分布記録の昆虫をカウントした。

1. 調査日程と調査者

<4月> 金井賢一

4月27日：鹿児島発（8:45）高速船→屋久島

28日：宮之浦発（8:10）→本村着（10:00）

集落～前田～向江浜～集落～番屋ヶ峰～岩屋泊～田代。夕食後は田代にて灯火採集。

29日：田代～前田～向江浜～湯向～永迫～田代。夕食後は本村にて講演会。

30日：田代～本村発（10:30）→屋久島発高速船→鹿児島（18:50）

28日は海上が大荒れの中で口永良部島に到着したが、その後の天候は快晴に恵まれ、十分に調査できた。

<7月> 山根正気、金井賢一

7月25日：鹿児島発（8:45）高速船→屋久島・宮之浦発（13:00）→本村着（14:40）～前田～向江浜～集落～番屋ヶ峰～岩屋泊～田代～湯向～永迫～田代。夕食後田代-湯向間にて灯火採集（～22:00）。

26日：田代～向江浜～前田～田代。夕食後永迫にて灯火採集（～21:00）。

27日：田代～田代-湯向間～前田～田代。夕食後は本村にて講演会。

28日：田代～本村発フェリー太陽（10:30）→屋久島発高速船→鹿児島（17:50）

28日のフェリー乗船直前に雨に見舞われたが、それ以外は晴天で調査に良い環境であった。

<10月> 山根正気, 金井賢一

10月17日: 鹿児島発 (8:30) フェリー屋久島2→宮之浦→フェリー太陽→本村着 (14:40) ~前田~向江浜~田代~田代-湯向間~田代。夕食後田代-湯向間で灯火採集。

18日: 田代~向江浜~田代~田代-湯向間~田代。夕食後向江浜で灯火採集。

19日: 田代~前田~田代~番屋ヶ峰~新村~田代

20日: 田代~本村発フェリー太陽 (10:30) →屋久島発フェリー屋久島2→鹿児島 (17:40)

全日程晴天で、調査に良い環境であった。



図1. 口永良部島の調査地点

3. 調査結果

種名の前に◎がついているものは、今回新たに分布が確認された種である。

蜻蛉目 (トンボ目) **ODONATA**

オニヤンマ科 **Cordulegasteridae**

・オニヤンマ *Anotogaster sieboldii*

本村 (1ex. 目撃 25. VII)

ヤンマ科 **Aeschnidae**

・カトリヤンマ *Gynacantha japonica*

新村 (1♂ 19. X)

トンボ科 **Libellulidae**

・ウスバキトンボ *Pantala flavescens*

番屋ヶ峰 (1♀ 28. IV)

蟪蛄目 (カマキリ目) **MSANTODEA**

カマキリ科 **Mantidae**

・ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera*

本村 (1幼虫 28. VII)

ハナカマキリ科 **Hymenopodidae**

◎サツマヒメカマキリ *Acromantis satumensis*

前田 (1ex. 19. X)

本種の学名は日本産直翅類学会 (2016) に従った。

同翅目 (ヨコバイ目) **ORTHOPTERA**

アオバハゴロモ科 **Flatidae**

・アオバハゴロモ *Geisha distinctissima*

永迫 (1ex. 26. VII), 田代-湯向間 (1ex. 17. X)

セミ科 **Cicadidae**

・クマゼミ *Cryptotympana facialis*

向江浜 (1♂ 25. VII)

・クロイワツクツク *Meimuna kuroiwae*

本村 (1♀ 20. X)

7月には少数鳴いていたが、10月には多かった。

・ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*

田代 (2♂1♀ 25. VII), 向江浜 (1♀ 27. VII)

7月には非常にたくさん鳴いていたが、10月にはごく少数の鳴き声が確認できた程度であった。

・ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*

永迫 (1♀ 26. VII), 田代 (1♀ 27. VII), 田代-湯向間 (1抜け殻 26. VII)

・ヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis*

田代-湯向間 (1♀ 25. VII), 田代-湯向間 (3抜け殻 26. VII)

異翅目 (カメムシ目) **HETEROPTERA**

オオホシカメムシ科 **Largidae**

・オオホシカメムシ *Physopelta gutta*

田代-湯向間 (2exs. 17. X)

・ヒメホシカメムシ *Physopelta cincticollis*

永迫 (2exs. 26. VII), 田代-湯向間 (2exs. 17. X),

向江浜 (2exs. 18. X)

ナガカメムシ科 **Lygaeidae**

◎オオモンシロナガカメムシ *Metochus abbreviatus*

田代-湯向間 (2exs. 17. X), 向江浜 (1ex. 18. X)

ヘリカメムシ科 **Coreidae**

◎ヒゲナガヘリカメムシ *Notobitus meleagris*

新村 (1ex. 19. X)

中国南部あるいは台湾からの移入種で、タケ類の移植により南西諸島を中心に分布が拡大しており、九州本土でも確認された (石川ら, 2012)。新村の放棄さ

れたホウライチクで採集した。

カメムシ科 **Pentatomidae**

・チャバネアオカメムシ *Plautia crossota*

田代－湯向間 (1ex. 25. VII), 田代－湯向間 (3exs. 17. X)

◎ミナミアオカメムシ *Nezara vividula*

田代－湯向間 (1ex. 17. X)

直翅目 (バッタ目) **ORTHOPTERA**

カマドウマ科 **Rhaphidophoridae**

◎マダラカマドウマ *Diestrammena japonica*

田代－湯向間 (1♀ 27. VII)

コオロギ科 **Gryllidae**

◎オカメコオロギ属の一種 *Loxoblemmus* sp.

向江浜 (1♂ 18. X)

ハラオカメコオロギまたはモリオカメコオロギ。

◎ナツノツヅレサセコオロギ

Velarifictorus grylloides

田代－湯向間 (1♂ 幼虫 17. X)

キリギリス科 **Tettigoniidae**

◎カヤキリ *Pseudorhynchus japonicus*

田代 (1♀ 25. VII)

◎ヒサゴクサキリ *Agroecia luteus*

田代－湯向間 (1♂ 25. VII)

ツユムシ科 **Phaneropteridae**

◎サトクダマキモドキ *Holochlora japonica*

田代－湯向間 (3♂ 25. VII), 向江浜 (1♀ 27. VII), 前田 (1♂ 19. X)

オンブバッタ科 **Pyrgomorphidae**

・オンブバッタ *Atractomorpha lata*

向江浜 (1♀ 18. X)

バッタ科 **Acrididae**

・ショウリョウバッタモドキ *Gonista bicolor*

田代 (1♂ 20. X)

大図鑑 (日本直翅類学会, 2006) の分布表にはないが, 東京環境工科専門学校の HP では掲載されている。

・トノサマバッタ *Locusta migratoria*

向江浜 (1♀ 18. X), 前田 (1♂ 19. X)

・ハネナガイナゴの一種 *Oxya* sp.

向江浜 (1♂ 18. X)

・マダラバッタ *Aiolopus tamulus*

田代 (1♂ 25. VII)

双翅目 (ハエ目) **DIPTERA**

デガシラバエ科 **Pyrgotidae**

◎フトハチモドキバエ *Adapsila fusca*

田代 (2exs. 25. VII), 田代－湯向間 (1ex. 25. VII), 向江浜 (1ex. 26. VII)

ハナアブ科 **Syrphidae**

◎ナカグロコシボソハナアブ

Allobaccha nubilipennis

田代－湯向間 (1♂ 26. VII)

・ナガヒラタアブ *Asarkina porcina*

前田 (1♂ 19. X)

ムシヒキアブ科 **Asilidae**

◎アオメアブ *Cophinopoda chinensis*

田代－湯向間 (1♀ 27. VII)

メバエ科 **Conopidae**

◎ウスグロメバエ *Zodion cinereum*

岩屋泊 (1ex. 28. IV), 田代－湯向間 (1ex. 27. VII)

膜翅目 (ハチ目) **HYMENOPTERA**

クモバチ科 **Pompilidae**

・オオシロフクモバチ *Episyron arrogans*

岩屋泊 (1ex. 28. IV), 田代－湯向間 (1♂ 27. VII)

スズメバチ科 **Vespidae**

・オオフトオビドロバチ

Anterhynchium flavomarginatum

向江浜 (1♀ 27. VII)

・スズバチ *Oreumenes decoratus*

向江浜 (1♀ 27. VII)

◎カタグロチビドロバチ *Stenodynerus chinensis*

岩屋泊 (1ex. 28. IV), 向江浜 (1ex. 25. VII)

・ムモントックリバチ *Eumenes rubronotatus*

田代－湯向間 (2exs. 27. VII)

・キアシナガバチ *Polistes rothneyi*

前田 (1♀ 29. IV), 田代 (1♀ 26. VII), 向江浜 (1♀ 26. VII, 1♀ 27. VII)

◎キボシアシナガバチ *Polistes mandarinus*

田代－湯向間 (1♀ 26. VII)

・セグロアシナガバチ *Polistes jadvigae*

岩屋泊 (1♀ 25. VII), 向江浜 (1♀ 25. VII)

・コガタスズメバチ *Vespa analis*

向江浜 (1♀ 27. VII), 前田 (2♀ 19. X)

ツチバチ科 **Scoliidae**

・アカアシハラナガツチバチ *Campsomeris mojiensis*

本村 (1♂ 28. VII), 前田 (1♂ 19. X)

アナバチ科 **Sphecidae**

・コクロアナバチ *Isodontia nigella*

本村 (1ex. 28. VII)

◎クロアナバチ *Sphex (Sphex) argentatus*

本村 (1♀ 28. VII)

ミツバチ科 **Apidae**

・アマミクマバチ *Xylocopa (Alloxylocopa) amamensis*

前田 (1♂ 29. IV), 本村 (1♂ 30. IV), 向江浜 (1♀ 27. VII)

・ニッポンヒゲナガハナバチ

Eucera (Synhalonia) nipponensis

本村 (2♀ 30. IV)

鞘翅目 (コガネムシ目) **COLEOPTERA**

ハンミョウ科 **Cicindelidae**

・ハンミョウ *Cicindela chinensis*

岩屋泊 (2exs. 28. IV), 向江浜 (2exs. 25. VII, 1ex. 18. X)

オサムシ科 **Carabidae**

◎キュウシュウツヤゴモクムシ

Trichotichnus vespertinus

田代-湯向間 (5exs. 17. X), 田代 (1ex. 17. X), 向江浜 (2exs. 18. X)

シテムシ科 **Silphidae**

◎モモブトシテムシ *Necrodes nigricornis*

田代-湯向間 (1♀ 17. X), 向江浜 (1♂ 18. X)

クワガタムシ科 **Lucanidae**

・ノコギリクワガタ口永良部島亜種

Prosopocoilus inclinatus kuchinoerabuensis

田代-湯向間 (1♂4♀ 25. VII), 永迫 (3♂1♀ 26. VII), 田代 (1♂ 27. VII)

・ネブトクワガタ *Aegus laevicollis*

田代 (1♂ 18. X)

コガネムシ科 **Scarabaeidae**

・カドマルエンマコガネ *Onthophagus lenzii*

田代 (1♀ 17. X)

・オオカンショコガネ *Apogonia major*

田代 (1ex. 28. IV)

小林・松本 (2011) に、口永良部島の分布が明記されている。

・フタスジカンショコガネ *Apogonia bicarinata*

向江浜 (2exs. 18. X)

・オオコフキコガネ *Melolontha frater*

田代-湯向間 (4♂ 25. VII)

小林・松本 (2011) に、口永良部島の分布が明記されている。

◎マメコガネ *Popillia japonica*

田代-湯向間 (2exs. 26. VII), 田代 (2exs. 26. VII)

・アオドウガネ *Anomala albopilosa*

田代-湯向間 (3exs. 25. VII, 1ex. 17. X), 永迫 (1ex. 26. VII)

・ドウガネブイブイ *Anomala cuprea*

田代-湯向間 (2exs. 25. VII)

・ヒメコガネ *Anomala rufocuprea*

田代-湯向間 (1ex. 25. VII), 永迫 (1ex. 26. VII)

・シロテンハナムグリ *Protaetia orientalis*

向江浜 (1ex. 25. VII)

・カブトムシ口永良部島亜種

Trypoxylus dichotomus tsuchiyai

田代-湯向間 (2♂1♀ 25. VII)

タマムシ科 **Buprestidae**

・アヤムネスジタマムシ *Chrysodema lewisii*

向江浜 (2♀ 27. VII)

コメツキムシ科 **Elateridae**

◎シロモンサビキコリ *Agrypnus scutellaris*

向江浜 (1ex. 18. X)

◎オオフタモンウバタマコメツキ

Paracalais larvatus

田代 (2exs. 27. VII), 向江浜 (1ex. 18. X)

カッコウムシ科 **Cleridae**

◎イガラシカッコウムシ *Tillus igarashii*

永迫 (1ex. 26. VII)

コメツキモドキ科 **Languriidae**

・ニホンホホビロコメツキモドキ

Dauledaya bucculenta

田代 (1ex. 17. X)

テントウムシ科 **Coccinellidae**

◎クリサキテントウ *Harmonia yedoensis*

田代 (2exs. 28. IV), 永迫 (2exs. 26. VII), 向江浜 (3exs. 18. X), 前田 (1ex. 19. X)

◎ニジュウヤホシテントウ

Epilachna vigintioctopunctata

前田 (1ex. 19. X)

ゴミムシダマシ科 **Tenebrionidae**

・モンキゴミムシダマシ *Diaperis lewisii*

永迫 (1ex. 26. VII), 田代-湯向間 (1ex. 17. X), 向江浜 (2exs. 18. X)

カミキリモドキ科 **Oedemeridae**

◎カトウカミキリモドキ *Xanthochroa kato*

田代 (1♂1♀ 28. IV)

◎ハイイロカミキリモドキ *Eobia cinereipennis*

永迫 (1ex. 26. VII)

◎ツマグロランプカミキリモドキ *Eobia chinensis*

田代-湯向間 (1ex. 25. VII), 永迫 (4exs. 26. VII)

カミキリムシ科 **Cerambycidae**

・クロカミキリ *Spondylis buprestoides*

永迫 (1ex. 26. VII), 田代-湯向間 (2exs. 17. X)

・ヨツスジトラカミキリ

Chlorophorus quinquefasciatus

向江浜 (1♀ 27. VII), 田代-湯向間 (1♂ 27. VII)

・アメイロカミキリ *Stenodryas clavigera*

田代 (1♂ 28. IV)

・オビレカミキリ *Euseboides matsudai*

田代 (1♂ 28. IV)

・ムツボシシロカミキリ *Olenecamptus taiwanus*

田代 (1♂ 18. X)

ハムシ科 **Chrysomelidae**

◎キボシツツハムシ *Cryptocephalus perelegans*

岩屋泊 (1ex. 28. IV), 本村 (1ex. 30. IV)

◎アカガネサルハムシ *Acrothinium gaschkevitchii*

番屋ヶ峰 (1ex. 28. IV)

◎ウリハムシ *Aulacophora femoralis*

前田 (1ex. 19. X)

・クロウリハムシ *Aulacophora nigripennis*

向江浜 (1ex. 25. VII)

◎オキナワイチモンジハムシ

Morphosphaera coerulea

前田 (2exs. 19. X)

2005年に屋久島で初めて確認され、近年は指宿市にも侵入した。口永良部島にいつから侵入したのか不明だが、食樹のガジュマルやおオイタビなどは多い。

ゾウムシ科 **Curculionidae**

◎ニセマツノシラホシゾウムシ

Shirahoshizo rufescens

田代 (1ex. 17. X), 田代-湯向間 (1ex. 17. X), 向江浜 (1ex. 18. X)

オオゾウムシ科 **Rhynchophoridae**

◎オオゾウムシ *Sipalinus gigas*

田代 (1ex. 28. IV), 田代-湯向間 (1ex. 17. X)

鱗翅目 (チョウ目) **LEPIDOPTERA**

アゲハチョウ科 **Papilionidae**

・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

前田 (1ex. 目撃 27. VII)

他にも少数確認した。

・ミカドアゲハ *Graphium doson*

向江浜 (1♂ 29. IV) (1♂目撃 26. VII)

・モンキアゲハ *Papilio helenus*

岩屋泊 (1♂1♀ 28. IV), 前田 (1♀ 29. IV, 1♀ 19. X)

・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*

前田 (1♂ 29. IV), 田代 (1♂目撃 25. VII)

シロチョウ科 **Pieridae**

・ウスキシロチョウ *Catopsilia pomona*

田代 (1♀目撃 27. VII)

迷チョウ。

・ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

前田 (1♂目撃 27. IV), 本村 (1♂1♀目撃 30. IV)

4月には他にも数多く目撃したが、7月と10月の調査では端境期なのか、観察できなかった。

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

・アマミウラナシジミ *Nacaduba kurava*

向江浜 (2♀ 18. X), 前田 (1♂1♀ 19. X)

・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

本村 (1♂ 18. X)

福田・守山 (2013) では未記録地であったが、東京環境工科専門学校の HP では掲載されている。

・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

岩屋泊 (4♂1♀ 28. IV), 向江浜 (2♂ 18. X, 3♂1♀ 19. X), 本村 (1♂ 18. X, 1♂ 20. X), 前田 (4♂1♀ 19. X)

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

・アカタテハ *Vanessa indica*

岩屋泊 (1♀ 28. IV), 前田 (1♀ 19. X)

・イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas*

向江浜 (1ex. 目撃 27. VII), 田代-湯向間 (1ex. 目撃 27. VII)

・リュウキュウムラサキ *Hypolimnas bolina*

前田 (1♂ 19. X)

迷チョウ

・カバマダラ *Danaus chrysippus*

前田 (1♂ 19. X)

他にも4頭ほど目撃した。迷チョウ。前田から田代に向かう道沿いには多数のトウワタが逸脱しているが、幼虫を確認することはできなかった。

・ヒメジャノメ *Mycalesis gotama*

西之湯 (1♀ 29. IV), 田代-湯向間 (1ex. 目撃 27. VII)

他にも数頭目撃したが、あまり多くない。

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

◎キマダラセセリ *Potanthus flavus*

向江浜 (1♀ 27. VII)

鹿児島県本土, 屋久島, 種子島, 口之島, 中之島で記録があるが, その他の薩南諸島では今回の記録以外にない。この個体のほかには見かけなかった。



図2. 口永良部島産キマダラセセリ♀

・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

岩屋泊 (2exs. 28. IV), 本村 (1ex. 30. IV), 前田 (2exs. 19. X)

・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

岩屋泊 (2♂ 28. IV), 番屋ヶ峰 (1♀ 28. IV), 向江浜 (1幼虫目撃 17. X)

ボクトウガ科 **Cossidae**

・ゴマフボクトウ *Zeuzera multistrigata leuconota*

向江浜 (1♂ 19. X)

ハマキガ科 **Tortricidae**

◎マツアトキハマキ *Archips oporana*

田代-湯向間 (1♂ 28. IV)

・クロシオハマキ *Archips peratratus*

田代-湯向間 (1♀ 17. X)

◎スギハマキ *Homona issikii*

田代-湯向間 (1♂ 28. IV)

◎コシロアシヒメハマキ *Hystrichoscelus spathanum*

田代-湯向間 (1♂ 28. IV)

◎コアシプトヒメハマキ *Cryptophlebia distorta*

永迫 (1♂ 26. VII)

マイコガ科 **Heliodinidae**

◎キイロマイコガ *Stathmopoda auriferella*

田代-湯向間 (1♂ 28. IV)

ツトガ科 **Crambidae**

◎シロスジツトガ *Crambus argyrophorus*

田代-湯向間 (3♀ 28. IV)

・モンキシロノメイガ *Cirrhochrista brizoalis*

田代-湯向間 (1♀ 28. IV, 2♀ 25. VII, 4♀ 17. X), 永迫 (1♀ 26. VII), 向江浜 (1♀ 19. X)

◎モンキノメイガ *Pelena sericea*

田代-湯向間 (1♀ 17. X)

◎コガタシロモンノメイガ *Piletocera sodalis*

田代-湯向間 (1♀ 28. IV)

◎ムラサキクルマメイガ *Clupeosoma purpureum*

永迫 (2♂ 26. VII)

◎ツマアカシマメイガ *Orthopygia nannodes*

田代-湯向間 (1♂ 28. IV)

◎ヒメミツテンノメイガ *Mabra nigriscripta*

永迫 (1♂ 26. VII)

◎フタマタノメイガ *Pagyda arbiter*

田代-湯向間 (1♀ 28. IV)

◎ナカオビノメイガ *Hydriris ornatalis*

向江浜 (3♀ 19. X)

・シロモンノメイガ *Bocchoris inspersalis*

田代-湯向間 (4♀ 25. VII), 永迫 (1♀ 26. VII)

・ハグルマノメイガ *Nervina procopia*

田代-湯向間 (1♀ 17. X)

◎ナカキトガリノメイガ *Preneopogon catenalis*

田代-湯向間 (3♀ 28. IV, 1♀ 25. VII, 5♂ 1♀ 17. X)

・ナカキトガリノメイガ *Preneopogon catenalis*

永迫 (4♀ 26. VII)

◎オオキノメイガ *Botyodes principalis*

田代-湯向間 (1♀ 17. X)

・ミナミウコンノメイガ *Pleuroptya sabinusalis*

田代-湯向間 (1♂ 28. IV)

◎ホソミスジノメイガ *Pleuroptya chlorophanta*

田代-湯向間 (1♀ 17. X)

◎コツチイロノメイガ *Syllepte cissalis*

田代-湯向間 (1♂ 25. VII)

・ミツシロモンノメイガ *Glyphodes actorionalis*

- 田代-湯向間 (2♀ 28. IV, 1♀ 25. VII, 2♀ 17. X)
- ◎フタホシノメイガ *Glyphodes bipunctalis*
田代-湯向間 (2♂2♀ 28. IV), 向江浜 (1♀ 19. X)
- ◎イカリモンノメイガ *Agrioglypta itysalis*
向江浜 (1♂2♀ 19. X)
- ◎ケブカキイロノメイガ *Thliptoceras amamiale*
田代-湯向間 (2♂7♀ 25. VII), 永迫 (1♂5♀ 26. VII)
- ◎シロテンウスグロノメイガ
Bradina atopalis erectalis
田代-湯向間 (1♀ 25. VII), 向江浜 (1♀ 19. X)
- ◎ウスオビクロノメイガ *Herpetogramma fuscescens*
田代-湯向間 (1♀ 17. X)
- ◎コキモンウスグロノメイガ
Herpetogramma pseudomagnum
田代-湯向間 (1♀ 25. VII)
- ◎モンキクロノメイガ
Herpetogramma luctuosale zelleri
永迫 (1♀ 26. VII)
- ◎キアヤヒメノメイガ *Diasemia accalis*
田代-湯向間 (1♀ 25. VII)
- ◎タケノメイガ *Crypsitya coclesalis*
永迫 (1♂ 26. VII)
- メイガ科 **Pyralidae**
- ・キベリトガリメイガ *Endotricha minialis*
田代-湯向間 (1♀ 25. VII)
- ◎ウスベニトガリメイガ *Endotricha olivacealis*
田代-湯向間 (1♂ 28. IV, 1♂1♀ 25. VII), 永迫 (2♂1♀ 26. VII)
- ◎コマエジロホソメイガ *Polyocha diversella*
永迫 (4♂2♀ 26. VII)
- シャクガ科 **Geometridae**
- ◎サザナミシロアオシャク
Thalassodes immissarius immissarius
田代-湯向間 (1♂ 17. X)
- ・ヨツモンマエジロアオシャク
Comibaena procumbaria
田代-湯向間 (3♂1♀ 17. X) 向江浜 (1♀ 19. X)
- ・コヨツメアオシャク *Comostola subtiliaria nympha*
田代-湯向間 (1♂ 28. IV, 1♂ 25. VII, 1♂ 17. X), 永迫 (2♀ 26. VII)
- ◎ウスキトガリヒメシャク *Scopula confusa*
田代-湯向間 (1♀ 28. IV)
- ◎ナミスジチビヒメシャク *Scopula personata*
田代-湯向間 (1♀ 17. X)
- ・ギンバネヒメシャク *Scopula epiorrhoe*
田代-湯向間 (1♂ 25. VII)
- ・シモフリシロヒメシャク *Scopula coniaria*
田代-湯向間 (3♂ 28. IV, 1♀ 25. VII, 1♀ 17. X)
- ◎トビスジヒメナミシャク *Orthonama obstipata*
田代-湯向間 (1♀ 28. IV)
- ◎ヤスジカバナミシャク
Eupithecia mandschurica japonica
田代-湯向間 (1♀ 17. X)
- ◎サビイロナミシャク
Pseudocollix hyperythrus catalalia
田代-湯向間 (1♀ 28. IV)
- ◎ハグルマエダシャク *Synegia hadassa*
田代-湯向間 (1♀ 25. VII)
- ・ツマジロエダシャク *Krananda latimarginaria*
向江浜 (1♂1♀ 19. X)
- ◎クロフシロエダシャク *Dilophodes elegans elegans*
田代-湯向間 (1♂ 28. IV)
- ・ヤクシマフトスジエダシャク *Cleora minutaria*
田代-湯向間 (1♂1♀ 25. VII), 永迫 (1♀ 26. VII)
- ・オオマエキトビエダシャク *Nothomiza oxygoniodes*
田代-湯向間 (1♂ 25. VII)
- ◎ヒメウコンエダシャク *Corymica arnearia*
田代-湯向間 (1♀ 25. VII)
- ◎ウスキツバメエダシャク *Ourapteryx nivea*
田代-湯向間 (1♂ 25. VII), 永迫 (1♂1♀ 26. VII)
- ヒトリガ科 **Arctiidae**
- ・ツマキホソバ *Eilema laevis*
田代-湯向間 (1♂1♀ 25. VII), 永迫 (1♀ 26. VII)
- ◎ヒトテンアカスジコケガ *Cyana unipunctata*
田代-湯向間 (2♂ 28. IV, 1♀ 18. X), 向江浜 (1♂2♀ 19. X)
- ◎ヒメホシキコケガ *Lyclene dharma butleri*
永迫 (1♀ 26. VII), 田代-湯向間 (2♀ 17. X)
- カイコガ科 **Bombycidae**
- ◎クワコ *Bombyx mandarina*
永迫 (1♂ 26. VII), 田代-湯向間 (1♀ 18. X), 向江浜 (2♂ 19. X)
- スズメガ科 **Sphingidae**
- ◎ハネナガブドウスズメ *Acosmeryx naga*
田代-湯向間 (1♂ 28. IV)
- ◎ブドウスズメ *Acosmeryx castanea*

- 田代-湯向間 (2♂ 28. IV)
- ヤガ科 **Noctuidae**
- ◎ウラギンキヨトウ *Mythimna hamifera*
田代-湯向間 (1♀ 28. IV)
- ◎マメチャイロキヨトウ *Mythimna stolidia*
田代-湯向間 (1♀ 17. X)
- ◎アオフシラクモヨトウ *Antapamea conciliata*
田代-湯向間 (7♂1♀ 28. IV)
- ・スジキリヨトウ *Spodoptera depravata*
田代-湯向間 (1♂1♀ 18. X)
- ・ヒメツマキリヨトウ *Callopistria duplicans*
永迫 (1♀ 26. VII)
- ・マダラツマキリヨトウ *Callopistria repleta*
永迫 (1♂ 26. VII)
- ・ナカウスツマキリヨトウ *Callopistria maillardi*
田代-湯向間 (1♂ 17. X), 向江浜 (2♀ 19. X)
- ◎ウスキツマキリコヤガ *Lophorhiza lunifera*
田代-湯向間 (1♀ 17. X)
- ◎アトキシジクマコヤガ *Oruza mira*
田代-湯向間 (1♂ 28. IV)
- ◎ヒメゴマフコヤガ *Metaemene atriguttata maculata*
向江浜 (1♂ 19. X)
- ・オキナワウスイロコヤガ *Azumaia micardiopsis*
田代-湯向間 (5♂4♀ 28. IV, 1♀ 25. VII, 2♂1♀ 17. X), 永迫 (2♀ 26. VII), 向江浜 (2♂1♀ 19. X)
- ・クロスジユミモンクチバ *Melapia japonica*
田代-湯向間 (2♂3♀ 28. IV, 1♀ 25. VII, 2♀ 17. X), 永迫 (4♀ 26. VII), 向江浜 (1♀ 19. X)
- ◎キマエコノハ *Eudocima salaminia*
田代-湯向間 (1♂ 25. VII)
- ◎タイワンキシタクチバ *Hypocala subsatura*
田代-湯向間 (1♀ 28. IV)
- ・シャクドウクチバ *Mecodina nubiferalis*
田代-湯向間 (1♂ 28. IV)
- ・ソトハガタアツバ *Olulis puncticinctalis*
田代-湯向間 (1♂ 28. IV, 1♂ 17. X), 永迫 (1♂1♀ 26. VII)
- ・ウスグロセニジモンアツバ *Paragona inchoata*
田代-湯向間 (1♂ 17. X)
- ・モンクロキシタアツバ *Hypena sagitta*
田代-湯向間 (1♂1♀ 28. IV)
- ・クロキシタアツバ *Hypena amica*
田代-湯向間 (1♂2♀ 25. VII), 永迫 (3♂9♀

26. VII)
- ・ウスヅマアツバ *Bomolocha perspicua*
永迫 (1♂ 26. VII)
- ・ソトウスグロアツバ *Hydrillodes lentalis*
向江浜 (2♀ 19. X)
- ◎マルバネウスグロアツバ *Hydrillodes pacificus*
永迫 (1♂1♀ 26. VII)
- ◎シロテムムラサキアツバ *Paracolax pryeri*
永迫 (1♀ 26. VII)
- ◎シロヘリアツバ *Simplicia mistacalis*
向江浜 (1♀ 19. X)
- ・ヤクシマコブヒゲアツバ *Zanclognatha yakushimalis*
田代-湯向間 (1♀ 28. IV, 1♀ 17. X), 永迫 (1♂ 26. VII)
- ◎シラナミアツバ *Herminia innocens*
田代-湯向間 (1♀ 17. X), 向江浜 (1♀ 19. X)
- ◎オオシラナミアツバ *Hipoepa fractalis*
田代-湯向間 (3♀ 17. X)
- ◎トビイロトラガ *Sarbanissa subflava*
田代-湯向間 (4♂1♀ 28. IV)

4. まとめ

今回の調査で、9目56科190種の昆虫を確認したが、そのうち7目34科にわたる91種が新分布とされた。口永良部島は調査が不足している地域であり、発表されたデータも少ない。さまざまな時期に調査することで、今後も新しい知見を蓄積していくことが必要であろう。特に灯火装置を必要とする蛾類については、調査回数を増やすほどに新たな記録が期待できる。

南九州では、少なくとも過去4回の大きなカルデラを形成する噴火が起こり、さらに薩摩硫黄島や口永良部島、口之島、中之島、諏訪之瀬島などでは、火山活動が繰り返し起こったと思われる。火砕流地帯での昆虫相の変化を調べることは、過去に噴火のあった地域での変化を推測するためにも重要なデータとなるであろう。新燃岳が2011年に噴火した際には、立入制限が長期間だったために、噴火後の調査開始が遅くなった。今回の口永良部島での調査はかなり早い段階で開始できたので、貴重なデータが得られるだろう。今後も継続して調査していく。

謝辞

屋久島町には立入禁止区域：向江浜への立入許可を

頂いた。山根正気氏には調査に同行して頂き、灯火採集などに協力を頂くと共に、調査について助言を頂いた。福田輝彦氏には蛾類の標本作製・同定で大変お世話になった。守山泰司氏にはキマダラセセリについてご教示頂いた。厚くお礼申し上げます。

今回の研究の一部は、公益財団法人自然保護助成基金第27期（2016年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成を受けたものである。

引用文献

東清二監修(2002)増補改訂琉球列島産昆虫目録. 570pp. 沖縄生物学会, 西原町(沖縄県).
福田晴夫・守山泰司(2013)鹿児島県産チョウ類の分布ノート. *Satsuma*, 150 : 3-40.

福田輝彦(2015)黒島, 硫黄島, 口永良部島10月の蛾類採集記録. *Satsuma*, 154 : 17-24.
林正美・税所康正(2011)日本産セミ科図鑑. 223pp. 誠文堂新光社, 東京.
石川忠・高井幹夫・安永智秀(2012)日本原色カメムシ図鑑第3巻. 573pp. 全国農村教育協会, 東京.
鹿児島県環境技術協会(2001)生態系多様性地域調査(口永良部島公園区域拡張調査)報告書. 161pp. 環境省請負業務, 鹿児島.
小林裕和・松本武(2011)日本産コガネムシ上科図説第3巻(食葉群2). 178pp. 昆虫文献六本脚, 東京.
日本直翅類学会編(2006)バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 687pp. 北海道大学出版会, 札幌.
日本直翅類学会編(2016)日本産直翅類標準図鑑. 384pp. 学研プラス, 東京.

